

貸借対照表

(平成31年 3月31日現在)

日鉄エポキシ製造株式会社

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)	千円	(負債の部)	千円
流動資産	4,210,561	流動負債	4,075,434
現金及び預金	1,359	支払手形	237,973
売掛金	956,361	買掛金	2,001,091
製品	1,691,859	リース債務	5,525
仕掛品	393,152	短期借入金	1,200,000
原材料	771,646	未払金	470,181
貯蔵品	110,485	未払費用	57
前払費用	24,959	預り金	14,527
預け金	159,833	賞与引当金	146,078
未収入金	76,814		
未消費税	23,467		
その他の流動資産	622		
固定資産	3,018,933	固定負債	1,679,022
有形固定資産	2,687,684	長期借入金	700,000
建物及び附属設備	1,136,089	長期リース債務	17,478
構築物	243,231	退職給付引当金	949,528
機械装置	1,234,913	役員退職慰労引当金	12,015
車両運搬具	1,919		
工具器具備品	43,130	負債合計	5,754,456
リース資産	21,098		
建設仮勘定	7,302		
投資その他の資産	331,248	(純資産の部)	
繰延税金資産	327,606	株主資本	1,475,037
その他の投資	3,642	資本金	100,000
		利益剰余金	1,375,037
		その他利益剰余金	1,375,037
		繰越利益剰余金	1,375,037
		純資産合計	1,475,037
資産合計	7,229,494	負債純資産合計	7,229,494

(注)金額は、単位(千円)未満を切り捨てにより表示している。

〔個別注記表〕

I. 重要な会計方針の注記

1. 資産の評価基準及び評価方法

たな卸資産

①製品・仕掛品・原材料

総平均法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）によっている。

②貯蔵品

最終仕入原価法に基づく原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）によっている。

2. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

主として定率法によっている。

建物（建物附属設備を除く。）については、定額法によっている。

平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物については定額法によっている。

無形固定資産

定額法によっている。

リース資産

残存価額をゼロとした定額法によっている。

3. 引当金の計上基準

賞与引当金

従業員に対する賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当期に帰属する金額を計上している。

退職給付引当金

従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務及び年金資産に基づき計上している。なお、退職給付債務の算定は簡便法によっている。

役員退職慰労引当金

役員の退職慰労金の支給に備えるため、内規に基づく当事業年度末における要支給額を計上している。

4. その他計算書類作成のために基本となる重要な事項

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっている。

II. 株主資本等変動計算書に関する注記

当期末における発行済株式の数

1,200株

III. 金額の端数処理に関する注記

千円単位での表示については、千円未満を切り捨て表示にしている。